

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第294回

シグ・シグラー

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年2月14日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

Failure is a detour,
not a dead-end street.

失敗は回り道。行き止まりではない。

シグ・シグラーはアメリカ人の作家、セールスマン、モチベーションスピーカー。

Column

大きな勇気を与えてくれる言葉だと思います。失敗したことを、あくまでもポジティブに“一つの結果”として受け入れ、素早く切り替える姿勢にメンタルの強さを感じます。メンタルが弱っている時は、失敗を恐れるあまり消極的になることで次の失敗を誘発するなど、ネガティブな連鎖を生んでしまうこともあります。“捉え方の違い”と言ってしまうかもしれませんが、なかなか上手に切り替えられなくて苦労することや、成功の定義が“失敗しないこと”になってしまうことも少なくありません。シグラーは、失敗しないことより“失敗した後が大切”ということを訴えたいのだと思います。経験値もストレス耐性も人それぞれ違うので、“その程度のことで？”と思うようなことだとしても、失敗して落ち込むことはあります。このコラムでも何度も述べているように、『自分と人は違う』ということを改めて理解しておく必要があり、“お互いに助け合おう！”という思いやりの心が重要だと私は考えます。

みなさんもご存知の有名ブランドである『COACH（コーチ）』はハンガリーの町である『Kocs（コチ）』が由来となっています。このコチという町は、当時としては画期的なサスペンション付きの4輪馬車を世界で初めて製造した事で有名で、その素晴らしい品質と乗り心地はヨーロッパなど各国の間で評判となりました。その評判もあり、「コチ」というだけで馬車を意味するようになりました。ブランドロゴにも馬車が描かれています。そうしてコチことサスペンション付きの4輪馬車は世に出回り、貴族や大事な物を運ぶ時だけに使用されるようになりました。馬車が人や物を目的地へ運ぶことから次第に「コーチ」という言葉自体が、「大事な人や物を運ぶ」「目的地に運ぶ」といった意味をもつようになったのです。指導してくださるコーチも一緒に自分の目標達成に向かって進んで（運んで）くれるという意味と同じだと思います。また、不安な時にそばに仲間がいてくれると心強いですよね。一緒になって頑張ってくれる仲間がいると、自分の中にもパワーが湧いてくる気がします。仲間の存在も自分を頑張らせてくれるコーチだと言えます。そして、自分自身も仲間にとってのコーチになれるのです。苦楽を共にしながら、仲間のピンチの時にはそばにいてあげましょう。そして、多くのコーチたちに導かれ、回り道でもしっかりと進んでいくことで『自己実現』という最高のゴールを仲間とともに達成しましょう！